

2015.
2月号

広報～風・菜・樹

ふなき便り



社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

● ハイツふなき サークル活動!!



皆さんこんにちは！ハイツふなきでは現在新しい活動としてサークルの活動に取り組んでいます。

経緯としては、利用者の方の中に何か役割を持ちたいとおっしゃられる方や、特技を生かしたい、コミュニケーションが苦手なので克服していきたいと話されている方が多くおり、皆さんの声をどうにか形にしたいと思ったことがきっかけでした。

始めは利用者の方にどういった事をしたいのか、サークルとして何が出来そうなのか聞いて回りました。たくさんの意見が集まり、図書サークルや、園芸サークル、行事サークル…その他にもたくさんあり、利用者の方が色々な事をしたいのだという事も分かりました。その中でまずは3つのサークルを決め、皆さんにやってみたいサークルを選んでもらいました。

実施する意義や目的としては、

- ①達成感を得る事が出来る
- ②相手を尊重する気持ちを養える
- ③自分の特技を生かすことができる
- ④協調性を得る事が出来る
- ⑤役割を持ち日々の生活に充実感を得る事が出来る。

以上の5つを目標に、今はまだ話し合いの段階ですが、これからいろいろな事を実践し利用者の方が充実した日々を送れるよう支援していきたいと感じています。今後より一層利用者の方に有意義な活動を提供していくけるよう頑張って行きますので、応援よろしくお願ひします。

★園芸サークル

主に野菜や花を育てます。また、野菜を購入するための予算の作成も行う為、計算や見通しのある計画を立てる事が出来ます。もちろん水やりは当番制で、役割も持っていたります。



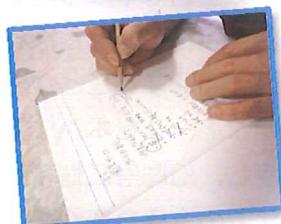
★文芸サークル

何を作成するのか意見を出し合いながら、作品を作っていく。皆さんで力を合わせ、1つのものを作ったり、自分の好きなものを作成することで、想像力を養うことができます。また、新たな趣味を見つける事も出来ると考えています。



★スポーツサークル

汗を流してストレス発散をします。軽い運動から体育館を借りたチームで行うスポーツをし、皆さんとコミュニケーションを図ります。体育館を予約する際の電話など利用者の方にしていただこうと考えています。



企業見学に行ってきました

1月26日～29日にかけて、サムラは障害者雇用をされている企業を見学し、利用者さんに就職に対する意識づけ及び障害者雇用の現状の理解に努めてもらいたいと思い、「THK株式会社 山口工場」様に協力を依頼し、見学をさせていただきました。

「THK株式会社 山口工場」様は第2号ジョブコーチ（職場適応援助者）を配置されており、職務としては雇用されている障害者に対する支援や企業内の職場適応体制の確立に向けた調整・関係機関の調整など支援されています。

当日はその第2号ジョブコーチの方に工場内を説明していました。会社の概要から実際に雇用されている障害者の仕事の様子などを見学させていただきました。また同時に全国障害者技能競技大会（アビリンピック）において「製品パッキング」という種目で4連覇されたというお話を聞き、実際に金賞を受賞された方の仕事の様子を見せていただきました。

実際に働く上では障害者も社内技能検定に合格するために日々尽力・努力されている姿を拝見し、利用者も見学終了後には「就職する」ということについてより意識・認識を高め、今後もサムラの作業や訓練等を通じて自分も就職していきたいとの感想をいただきました。



● 製品の説明を受けたり、実際に触れさせていただいたりしました。



● 企業の概要、取り組みについて、掲示のパネルを見ていきました。



● 免震装置の体験をさせていただきました。



● 当事者の方が作業されている現場です。真剣に仕事をされている様子は大きな刺激になったそうです。

ふらっとフォーラムに参加しました

NPO法人ふらっとコミュニティ主催のイベント「ふらっとフォーラム」（会場：宇部市総合福祉会館）に利用者・職員で参加してきました。

始めに当法人障害福祉サービス事業部佐伯所長の講演があり、「精神障害者を取り巻く施策とこれからの地域づくり」について講演がありました。施策の変遷や地域づくりのあり方などを詳しく聞く事ができました。また「シンポジウム」として、当事者・相談支援専門員・訪問看護師それぞれの立場から今までの生活や辛かった事等の話を聞く事ができ、当事者自身に大きく関わることとなる相談支援専門員の役割や今後の生活について理解する事が出来ました。

また、「松本ハウス」のハウス加賀谷さんが統合失調症を発症し、幻聴等に悩ませられながら芸人として活動している現在までの生き方を聞くことができ、励みになりました。



● 佐伯所長の講演の様子。図解にまごめ、わかりやすく説明されました。



● ヴィラふなきの利用者さんがリカバリートークをしました！

恵方巻き作りに挑戦！

生活支援センターふなきの日中一時支援で利用者さんから好評をいただいている活動に『料理のてつじん（調理実習）』があります。

2月13日（金）、ちょっと遅めの恵方巻きを作りました。皆さん巻き寿司をつくる機会はありませんとのことでしたが、簞巻きを使って手に巻かれていきました。

本来は恵方巻きは切らずに食べるですが、今回は食べやすいように切り分けて、美味しくいただきました。



●材料を切りました。



●職員のお手本です。



●利用者さんが手巻きに挑戦！



職員勉強会～救命救急の講習～

今年度は様々な内容の勉強会を実施してまいりました。中でも職員から再度研修をして欲しいと希望のあったテーマの一つが、今月実施した「救命救急」です。

今回も日本赤十字社 山口県支部より派遣講師の皆様をお招きし、実際に講習用の資材を用いてAEDを使用したり、一次救命についての講義及び気道異物除去についての勉強会を行いました。昨年参加した職員もおりますが、今年初めて参加した職員も多く、胸骨圧迫時の腕の伸ばし方など講師の方に具体的に指導していただきました。

実際に知識として理解していても、一連の手順を再確認する事でより実践的な勉強会になりました。



●実技講習の様子です。



●講師の丁寧な指導のもと、職員一人ひとりが実施しました。

スタッフちゃんねる



こんにちは。ヴィラふなきの木村です。早いもので入職してからもうすぐ3年が経とうとしています。時間で考えると長いですが、あっという間だったように感じます。また、その時々で家族や友人、職場の方々など多くの人に支えられていたなと思います。

この3年間で最も大きく変わったといえば・・・私事ですが入籍し、苗字や住所が変わり新たな生活が始まったということです。今までの生活とは一変したため、家具を新たな生活に合ったものをそろえるのに休みの日も落ち着く暇なくバタバタしていました。仕事・私生活共にまだまだ学ぶことは多いですが、頑張っていきたいと思います。



春季フリーマーケット開催のご案内

平成27年4月12日（日）、第34回地域交流フリーマーケットを開催いたします。春季のフリーマーケットは暖かくなっている時季であり、毎年多くの地域の方々や業者様にご出店いただいており、盛大に開催されています。ご新規の出店者様も大歓迎！家に眠っている遊休品を、この機会に出品してみませんか？ぜひ、一緒にフリーマーケットを盛り上げてください！

募集要項

- ・日 時 平成27年4月12日（日） 8:30～ ※予定
- ・場 所 〒757-0216
宇部市大字船木833-21
社会福祉法人 扶老会
障害福祉サービス事業部 敷地内
- ・募集期間 平成27年3月12日（日）～平成27年4月5日（日）
※区画に限りがございます。すべての区画が決まり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。
- ・区 画 1区画2m×2m
2区画2m×4m
3区画2m×6m
出店料は無料です。
- ・お問い合わせ先
ハイツふなき
TEL：(0836) 67-0188

今月のエソラゴト

もうすぐ、東日本大震災から丸4年が経ちます。東北から遠く離れた山口では、もしかしたらその記憶が薄れかかっている人もいるのかも知れませんが、復興が未だすすんでいない現状と、本当に多くの方が犠牲になったという現実からは、まだまだ目を背けてはいけません。被災地の皆様は、絶望から希望を見出しながら、自分なりの“リカバリー”を続けているのだと思います。

さて、この1月から「流星ワゴン」というドラマが放送されています。ご存知の方も多いと思いますが、このドラマは重松清さん的小説が原作です。何故、唐突にこんな話をするのかというと、実は以前、重松さんが東日本大震災を扱った小説を書かれたことがあって、個人的にとても心に響くものがあったからなのです。重松さんはベストセラー作家ですし、今さらお奨めするのも野暮ですが、「流星ワゴン」のドラマ化でスポットが当たっている時期もありますので敢えてご紹介させて頂きます。

小説のタイトルは「希望の地図」。震災から半年後の被災地を取材するジャーナリストと、それに同行する不登校の中学生の目を通した被災地の姿が描かれています。この作品に出てくるジャーナリストは、恐らく重松さん本人です。本当に何度も被災地に通われて、実際に綿密な取材を重ねられたことが良く伝わってきます。まさにドキュメントノベルです。

重松さんの作品を読まれたことがある方は分かると思いますが、重松さんの文章は本当に優しく、温かいのです。おそらく、映画やドラマでは伝わらない文学的要素がとても高いと思います。自分が疲れたとき、弱っているとき、に重松さんの作品を読むと、本当に温かく自分を包んでくれるような気持ちになるので、私は“サプリ”的な感覚で、重松さんの作品を手に取っています。

この「希望の地図」には、心に留めておきたい良い言葉が多く綴られています。これが、作家が創作したフィクションの言葉ではなくて、恐らく被災された方々が実際に発した心の言葉たちである、ということがとても重いのだと思います。被災者の「絶望」に涙するのではなく、「希望」に涙する良作です。つい最近、文庫版が出たばかりでお求めやすくなつて良い機会でもあるので、興味がある方は是非どうぞ。

（佐伯）

CHECK!



〒757-0216

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業部
山口県宇部市大字船木833

- ハイツふなき (0836) 67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- ヴィラふなき (0836) 67-1883 グループホーム（介護サービス包括型）
- 生活支援センターふなき (0836) 67-2464 相談支援事業・日中一時支援
- サムラ (0836) 67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>